

南小アシストネット だより

H. 27. 2. 18

栃木市立南小学校編集・発行

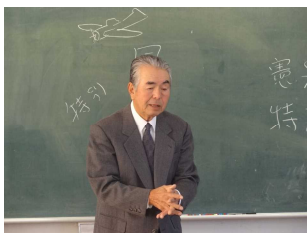
栃木市では、裏面の案内のように「地域の教育力による教育活動の充実」と「地域の絆づくり」を目的とする「とちぎ未来アシストネット」を平成24年度より推進しています。

本校でも多くの方々に学校支援ボランティアとしてお世話になっており、現在、下に挙げるような活動でご支援をいただいています。その多くは既に平成24年度以前より開始されているもので、本校の地域では市に先行して児童の健全育成に大きな役割を担ってきたと言ってよいでしょう。今回はその一端をご紹介します。たいと考え、たよりを発行する運びとなりました。どうぞご覧ください。

種別	活 動 の 概 要
安全	3名の交通指導員さんと共に多くの方々に見守られて児童は安全に登下校することができています。
読書	朝読書の時間に読み聞かせや民話の語りなどでお世話になっています。秋の人形劇も好評でした。
お囃子	土曜日に体育館でお囃子の指導をしていただいています。くららでの発表会や夏祭りで活躍しています。
学習	ミシン、戦争体験、放課後の補習などいろいろな場面で活動を支援していただいています。
農園	5年生が「田植え」や「稲刈り」などの貴重な体験をとおして「農業」や「食」について学んでいます。
清掃	「雑巾の掛け方、絞り方」、「掃き方」等をご指導いただき、清掃の仕方が身につけてきました。

【実際の活動から】

学習ボランティア（戦争体験講話）



6年生の社会科では、戦時中のことも学習しますが、教員に戦時体験のある者はおらず、本や映画等擬似的な体験で得た知識を伝えることとなります。是非、ボランティアの方という声があり、学校だよりで呼びかけ、2名の方にお話をさせていただきました。

児童の振り返りを見ると、小学校4年生で終戦を迎えた方の体験談に加え、実際に一緒に過ごした仲間を戦地に送った話など、児童にも戦争の悲惨さが伝わり、二度と起こしてはならないという意識を強くもつことができました。

【地域コーディネーター紹介】 沼和田東部自治会長をしておられる片柳義隆様にボランティアを学校に紹介したり、コーディネートしたりする活動を支援していただいています。片柳さんは「安全」や「お囃子」のボランティアとして10年以上にわたって本校の活動を支えてくださっています。



南小お話広場：読書ボランティア

読書ボランティアの活動が始まって10年以上になります。今では読書週間の「人形劇」も恒例になりました。共同でものを創り上げる活動を組むことでお互いの交流が飛躍的に進み、息もぴったり。地域のデイケアセンターからも出演依頼があったそう。まさに「学校」を核として「地域」の連携が進むという市の理念に近づきつつあります。

【ボランティアの方から】

「ボランティアティーチャーは地域の役割」と考え、栃木市立南小学校の児童に「巴波川の舟運の歴史」と題して「教育楽習」を行いました。（中略）「教育は百年の計」とも言われ、今日の「教育楽習」によって明日に結果が出るわけではありませんが、「地域の役割」を微力ながら果たすことができました。貴重な体験の機会をありがとうございました。



（村上武夫様）

